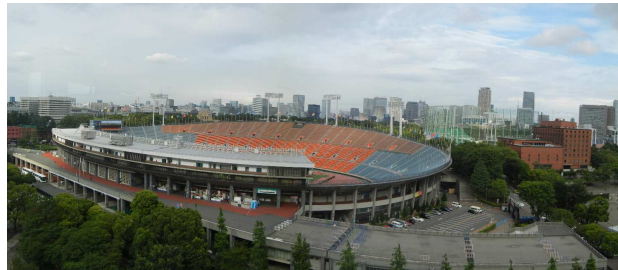


【From Kobe 2013.7月】

久しぶりの東京 これ以上過密の東京に投資して いいのだろうか・・・とも



6月15日 東京千駄ヶ谷のビルで会合があって、久しぶりに東京へ出かけました。

以前と比べ その人の多さが又増えたことにびっくり。

千駄ヶ谷の国立競技場脇のビルの階上から見る風景はもうアメリカの都市と言っても変わらぬビルと高速道路群。地下も地下鉄網に通信ケーブル・大規模排水溝などなどでもう超過密。地下40m近くを走る地下鉄大江戸線など「どこまでエスカレーターで下ろすのや」というほど深く、地下鉄で隣の駅へ行くより、徒歩で行った方が早いという笑い話もあるという。どこもかしこも人であふれる超過密。

「これ以上 東京に集中投資して どうすんねん」と・・・・・・・・。

夕暮れのビル群を見ながらそんなことを考えていました。

今 アベノミックスで景気が上向きと安部さんはじめ みんなが浮かれています。

公共投資を増やし、日銀は市場に大量の金を流通させ、東日本復興だ。輸出競争力だ。東京オリンピックだと。

でも 藪にらみ的にみると中央都市機能・金融・大企業とすべて東京に金を集中させ、「東京が元気になれば、そのうち 国民ひとりひとりまでまわってゆく」との古い図式。

でも東京・中央がすべてを吸い上げる今 そんな風にはならぬ。

ちょうど 小泉政権時代の規制緩和政策の悪夢の復活のごとくにみえる。

いまだに非正規雇用で苦しむ人の多い中 今度は年寄りの年金までもが、「優遇措置で投資へ」と促す。

投資しないと物価が上がると元本はめべりすると・・・・。家にいるとこの種の電話 DMがいくつも・・・・・・・・。

セーフティーネットがいたるところで、ずたずたにされる中でこれはない。

近くはアベノミックスでの円安・株高 一般の素人投資家はどうかだったのだろうか・・・・・・・・

また、あの維新人気はどこへいったのか・・・・・・・・ほんの数ヶ月前である。

こんなことを言うと「また 東京の批判」といわれるが、日本の成長を支えた「ものづくり日本」は掛け声だけで、具体性に乏しい。日本では「金融立国を目指し、いまだに大量生産・低コスト指向の大企業」中心主義。雇用創出・雇用安定による景気回復・東日本復興の具現化がいまだに見えない。

具体的な方策は何なのか・・・・・・・・と自問の毎日です。

かつて日本の高度成長をもたらした「物づくり日本」。

その中心にあった「電気」「造船」「鉄鋼」の雇用数は急減。電気産業の雇用数はここ数年で 最盛期の1500万人から1000万人を切っているという。

この間 口では「物づくり大国」を言い続けてきたが、具体的な「物づくり現場」の整備には目を向けず、むしろ現場の合理化にまい進してきたのである。

今の「物づくり現場」にユニークな発想を育て、新技術・新事業を生み出す素地があるだろうか・・・。

「匠」と呼ばれた技能・技術一筋の仲間の存在・数々の試作・思考・異業種や異分野との融合等々具体的なトライそして、それを支えたイズムとよばれた松下「やってみなはれ」ホンダ「見たり・聞いたり・ためしたり」等々の指向の中にこそ「物づくり」の技術が見えてくる。かつて無駄として「ものづくり現場」からそぎ落とされてしまったものばかりである。

虚業・大量生産指向の合理主義の中からは「ものづくり日本」の復権はありえない。

今の東京中心の諸施策 言い換えると「金融・大企業中心」の施策で、雇用不安から脱却し、景気回復・東日本復興が進むとは思えない。今一番 必要なのは オリンピック・マネーゲームへの参加ではなく、一刻も早くも日本各地の「物づくり現場」の支援・復活ではないか・・・。

今はインターネット時代で 誰もが手軽に情報が手に入る情報過多の時代。噂話とその真偽はともかく行動連鎖を生んでゆく時代。 本当に大事なものが、簡単に切り捨てられて、「みんながそうだ。乗り遅れるな」と迎合する。

いまの世相 便利で助かることも多いのですが、鵜呑みにすると乗せせられ、痛い目にあう。操作された情報がTVにツイッター・フェイスブックにブログにも満ち溢れている。最近明るみにそんなインターネット操作の記事が出ることもあるが、氷山の一角であろう。今度の選挙から、インターネットが、解禁になる。ただでさえ乗せられやすい日本人 留意せねば。



「俺おれ詐欺」に会うのも年寄りだけではない。知らぬ間にインターネット・マスコミ情報に乗せられている。真偽を判断するすべは TV もイッター・フェイスブック そしてブログにも提供してくれない。また、セキュリティソフトのような うそ情報をスクリーニングしてくれるソフトもないのである。

- ◎ ブラジルで「ワールドカップにつぎ込むお金を我々の生活救済に回せ」と大規模なデモが各地で起こっている。この感覚 健全とおもうのですが・・・
- ◎ にこにこ顔で東京オリンピックをPRする顔と語り口 みな同じしゃべり方の演技がTVに流れる。まるで、TVの日頃見る演技者の語り口に見えて仕方がない。東日本では震災復興の具体的な生活基盤・安定雇用につながる事業につながる投資が一向に進まぬのに・・・東京でまたオリンピックやって、大投資をせねばならぬ理由は何か・・・



そんな折に沖縄全戦没者追悼式で与那国島の小学1年生、安里有生君が朗読する
「へいわって すてきだね」の平和メッセージがふっと耳に飛び込んで

平和メッセージ「へいわって すてきだね」

6月23日 沖縄全戦没者追悼式で与那国島の小学1年生、安里有生君（6）が朗読した
「へいわって すてきだね」の詩が胸に響くと今話題になっている。

「へいわって なにかな ぼくはかんがえたよ」

「へいわって なにかな おともだちと なかよし。かぞくが、元氣
えがおであそぶ ねこがわらう なかいっぱい … 」

有生君が考えるごく身近な平和。それを一瞬にして悲しみに変えてしまう戦争への恐怖をつづり

「ぼくはへいわなときにうまれてよかったよ。このへいわが、ずっとつづいてほしい」と

口から自然と出てくる言葉で小学1年生らしくぼくとつと平和を訴える言葉が胸にずしりと響いてくる。

演技でない力強さが胸を打つ。沖縄には「命どう宝（ぬちどうたから）」という言葉もある。

ひとに迎合することなく本当に平和を自分のものとして

また、家族・仲間そして 共に暮らす人たちへと考えねば・・・と。

是非 一読を

共同通信 【平和の詩全文】「へいわってすてきだね」 <http://www.47news.jp/47topics/e/242925.php>

23日の沖縄全戦没者追悼式で沖縄県与那国町立久部良小1年、安里有生君（6）朗読の詩全文

youtube “へいわってすてきだね” 久部良小1年 安里有生

<https://www.youtube.com/watch?v=NBonUaHnG-g>

最近では東京・都市圏と地方地域との地域差をごまかす話が多い。 ついでに年寄りもだますなど。

「みんなが言うてる」と迎合していると後の祭り、あとから 悔やんでも……………

そんな状態が起こっている。そろそろ自分で判断するすべを

身につけねばやれぬ時代 明日はわが身である。

そんなことが 頭をよぎった東京でした。

でも 久しぶりに人並みの中に身を置くと

何とはなしにうれしい。

なんとか 先が見通せる日本に早くなってほしいと

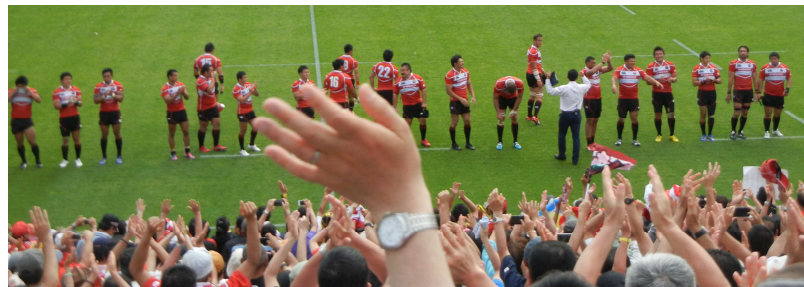
願っています。

夜10時を過ぎて

見に行った東京スカイツリーを見上げながら。



2013. 6. 15. 夜 東京の宿で Mutsu Nakanishi



6月15日東京秩父宮 ラグビー国際マッチ 全日本/ウェールズ戦ウェールズに始めて完勝した歓喜の渦の中に加わって